

第2回やまと精神医療センター薬薬連携研修会を開催して

薬剤科長 續木康夫

平成31年2月21日(木)第2回やまと精神医療センター薬薬連携研修会を片桐地区公民館研修室にて開催しました。地域包括ケアが叫ばれる中、在宅訪問薬剤指導をテーマとして共通認識と意見交換を目的にシンポジウムを行いました。参加者は保険薬局薬剤師29名、薬学実習生1名、当院より9名(医師2名、薬剤師3名、看護師2名、療養介助専門員1名、精神保健福祉士1名)でありました。

内容：18：30～18：45 MeijiSeika ファルマより「シクレスト®舌下錠」についての説明

18：45～20：00 在宅患者訪問薬剤管理指導、居宅療養管理指導のシンポジウム

- 1) 手順について 当院 薬剤科長 續木康夫
- 2) 服薬での困った事例について 当院 訪問看護ステーション管理者 井内典子
- 3) 保険薬局での実際の在宅訪問薬剤管理指導
しあわせ薬局小泉店 主任薬剤師 岡本圭史
- 4) 医師の立場より 当院 副院長 井上 眞



井内師長より事例紹介



井上副院長よりご意見

5) ディスカッション

岡本主任薬剤師より在宅訪問薬剤管理指導の対象患者、効果、実施方法などを伝えていただき非常に参考になりました。ディスカッションでは患者さんのために多職種連携が重要性であること。精神科薬の特色を理解し患者情報を十分に得た上で介入するという認識ができました。在宅業務を前進させていくことで意見が一致しました。

20：00～20：25

院外処方箋の連携について意見交換

- ① 前回の質問事項
- ② 併用禁忌について
- ③ 残薬調整について
- ④ 医薬品変更患者一覧表について
- ⑤ ゴールデンウィークの予定

残薬調整について、当院は保険薬局の判断で実施してもよいとの見解を伝えました。



ディスカッションの風景